

平成29年度 社会福祉法人こなんSSN 事業計画書

I 事業方針

4月からの社会福祉法人制度改革が進んでいる中、社会福祉法人こなんSSNも平成9年4月の共同作業所立ち上げから丸20年を迎えた。9月には記念行事も予定している。

B型は3事業所（シエスタ、こなんSSN、凧日和）とも順調に活動・経営を続けている。グループホーム（Dear House）も草津市の一軒家タイプは、昨年より新しい場所での活動が始まった。東近江（ひだまり）や草津（和…なごみ）のワンルームタイプも少しずつではあるが、安定した運営が図れている。相談支援所大地も今は草津市の利用者限定して、業務も定着しつつある。しかし、一方、老人サービス（さくら並木）は、介護報酬カットや地域密着型の影響を受け、利用者が増えずに3月いっぱい閉鎖を余儀なくされた。当法人に通所する利用者も徐々に高齢化が進む中、今後の居場所確保や支援については、さらに課題となって来るであろう。

2012年からのライフサポートミドルステージ5カ年プランは、おおむね達成できたが、セルフヘルプグループの育成は、まだまだ利用者の主体的な活動が行われるまでには至っていない。また、障害者雇用では継続雇用に繋がっていない現状がある。

これらを顧みて、2017年より第5期ライフサポート5カ年プランとして ①老朽化している凧日和の安心安全な活動を図るための施設整備 ②親の高齢化等に伴う利用者ニーズに対応してグループホームの定員増検討 ③B型以外の利用者ニーズに対応出来る新規事業の開始 ④さくら並木の反省をふまえ高齢障害者の在宅生活支援の新事業を検討 ⑤セルフヘルプグループの育成 ⑥障害者雇用の拡大 ⑦法人本部の組織強化 を進めていくことになる。平成29年度は、その第一歩になるため、第5期ライフサポートプランの基礎作りの年となる。

今後さらに利用者主体の、利用者のための事業所になっていくように、各事業所の個性を尊重しつつ事業を進めていきたいと考えている。

II 事業内容

①指定障害福祉サービス事業所の運営

- ・グループホーム運営 「Dear House」
- ・就労継続支援B型運営 「シエスタ」「こなんSSN」「凧日和」
- ・相談支援事業所運営「大地」

②法人事業

- ・12月：シクラメン販売（メンバーボーナス）
- ・地域交流事業（共催：サポーターの会）
- ・たより作成（年3回）・配布（各関係機関、地元自治会等）、ホームページ管理
- ・精神保健福祉に関する研修
- ・職員・メンバー研修（研修旅行・セルフヘルプ・ソーシャルワークの基礎研修）

③県の精神保健福祉充実のための新たな社会資源作りに向けた事業

- ・地域生活支援体制の充実に向け、相談支援事業所との連携をはかる
- ・法人施設での障害者雇用を定着させ、雇用の拡大を検討
- ・大津圏域で精神保健福祉サービスの提供を検討
- ・セルフヘルプグループの育成のための準備をはかる

④周年事業

- ・法人設立20周年事業
- ・凧日和設立10周年事業

平成29年度 グループホーム Dear House 事業計画書

定員10名 職員7名

活動目標	
グループホームでの生活を望む精神障害者に対し日常の援助等を行い、精神障害者が地域社会において自立した自由な生活が送れるようにすることを目標とする。	
活動内容	
①管理・運営	
<ul style="list-style-type: none"> グループホームの管理・運営を行う。 	
②相談・援助	
<ul style="list-style-type: none"> グループホーム利用者それぞれの必要に応じて自立生活に向けた援助相談をする。 日常生活の相談援助（食事・服薬・金銭管理・健康管理・掃除・洗濯・余暇利用等） 社会生活の相談援助（対人関係・社会資源の利用等） 	
居住施設	
<草津市> ・DearHouse 定員6名 (男性) ・和（なごみ） 定員2名 <東近江市> ・陽だまり 定員2名	

平成29年度 相談支援事業所 大地 事業計画書

職員3名

活動目標	
草津市在住のシエスタ・こなんSSN登録利用者を中心に、サービス等利用計画の作成をすすめていく。あわせて、相談員の育成、スキルアップをはかり、事業が円滑に遂行できるよう努めていく。	
活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活全般にわたる相談 地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供 サービス等利用計画の作成及び評価 訪問等による継続的なモニタリング 前各号に付帯するその他必要な援助 	
サービス種別	
指定特定相談支援事業 (平成26年11月1日指定)	
所在地	
草津市集町160-3	

平成29年度 就労継続支援B型 シエスタ 事業計画書

定員20名 職員8名

活動目標
<p>精神障害者を対象として、</p> <p>①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせる沙龙的な場としての機能をあわせもち、広く社会参加を目指す。</p> <p>②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。</p> <p>③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。</p> <p>以上を目標とする。</p>
活動内容
<p>①作業</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・部品組み立て軽作業・畑作業 ・作業内容の充実を検討 ・施設外就労の検討・実施
<p>②喫茶店「茶処ひびき」経営</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ランチ等の提供 ・製造班による洋菓子の製造 ・販売班による菓子販売 ・新メニュー開発 ・イベント開催（秋祭り協賛） ・PR活動等
<p>③サロン活動</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・月1回：レク&食事会・昼食会（参加型）・スポーツ ・年1回：バス旅行・小グループ活動 ・随時：ドライブ・散歩・図書館利用・PC指導・ゲーム等メンバーそれぞれにあった活動
<p>④自主活動</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・小グループ活動 ・勉強会 ・1泊旅行についての検討（積立金も含む）・実施
<p>⑤生活支援</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
<p>⑥就労支援</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援
<p>⑦啓発活動・ネットワークづくり</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会（年2回） ・地域連絡会（年2回） ・こなんSSNだより発行（年3回） ・イベント開催
<p>⑧障害者雇用</p>

平成29年度 就労継続支援B型 こなんSSN 事業計画書

定員20名 職員8名

活動目標
<p>精神障害者を対象として、</p> <p>①就労を中心とした社会復帰の関わりと、余暇の楽しみを見つけれられる関わりを通して、生活の幅を広げ社会参加を進めていく。</p> <p>②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。</p> <p>③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。以上を目標とする。</p>
活動内容
<p>①作業</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・清掃作業や古紙回収など出向を中心にしたグループ就労 ・軽作業や家庭菜園 ・自主製品販売先の開拓
<p>②サロン活動</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・隔月1回：レク&食事会・昼食会 ・年2回：季節レク（実行委員会形式で季節を感じられるレクを企画・実施） ・年1回：バス旅行・小グループ活動 ・随時：無料・・・ドライブ、図書館利用、ゲーム等 有料・・・買い物、カラオケ、昼食 ・年2回：スポーツ（実行委員会形式でスポーツの日を開催）
<p>③自主活動</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動（料理、創作等）、クラブの育成 ・小グループ活動等自主活動の活性化、レク内容の幅を広げる働きかけを行う ・他の作業所の活動を知る取り組み（NEXT ONE、サロン活動も活用）
<p>④生活支援</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援 ・メンバー対象の勉強会開催（年3回:自分の健康を守る～第2弾～）
<p>⑤就労支援</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援
<p>⑥啓発活動・ネットワークづくり</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会（年2回） ・地域連絡会（年2回） ・こなんSSNだより発行（年3回） ・イベント開催

活動目標

精神障害者を対象として、
①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせるサロンの場としての機能をあわせもち、広く社会参加を目指す。
②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。
③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。
以上を目標とする。

今年度は開所10周年の節目となるため、実行委員会を発足し、記念行事を開催する。

前年度に引き続き、支援の質の向上のため、他機関の支援者を交えて事例検討会を開催し、外部からの視点を取り入れ、日々の支援を客観的に振り返る機会を持つと共にそれぞれの職員が、積極的に他機関との交流を持ち、学び、視野を広げる事に努める。

活動内容**①作業**

- ・部品組み立てやパソコン入力等の軽作業
- ・グループ就労（大学清掃）
- ・新たな授産事業の展開を検討（自主製品開発も含む）

②サロン活動

- ・レク&食事会（隔月1回）
- ・健康レク（月1回）
- ・バス旅行、小グループ活動（年1回）
- ・散歩、図書館利用、お花見、絵画、書道など
- ・毎朝のラジオ体操、昼休みのウォーキング
- メンバーそれぞれにあった活動（随時）

③自主活動

- ・小グループ活動
- ・サークル活動（アート、漢字など）

④生活支援

- ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
- ・食生活や適度な運動など、健康的な生活を営む上で大切なことを学ぶ機会の提供、意識の定着

⑤就労支援

- ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援
- ・「（仮）一般就労を目指す会」を立ち上げ、互いに意識を高め合う機会を提供する

⑥啓発活動・ネットワークづくり

- ・家族交流会（年2回）
- ・地域連絡会（年2回）
- ・こなんSSNだより発行（年3回）
- ・イベント開催（自主勉強会、見学の企画など）
- ・他機関にも参加していただく事例検討会や自主勉強会、他施設見学の企画など
- ・「うたの集い」等、地域交流行事の開催

- ・10周年記念事業の開催